

## みなとみらいクラシック・マチネ ～名手と楽しむヨコハマの午後～ ウェールズ弦楽四重奏団



©Satoshi Oono

### ■ 50分の本格的な公演×2、とてもお得なシリーズ＝みなとみらいクラシック・マチネ

本シリーズは第1部 12:10、第2部 14:30 で各部 50分ずつの1日2部形式別プログラム。1部・2部のどちらかだけでもお楽しみいただけますし、時間が許せば両方を通して聴くと演奏者のこだわりや音楽の深さがよりわかる構成になっています。

本シリーズのユニークな点がもう一つ。1部と2部の間が90分(13:00～14:30)となっており、お食事や、みなとみらいの街散策を取り入れることで、“名手が奏でる音楽”と“平日午後のヨコハマ”の両方を満喫できるというもの。

音楽とみなとみらいの街を楽しんでいただく、横浜みなとみらいホールならではの魅力あるシリーズ公演です。

### ■ 2008年ミュンヘン国際音楽コンクール第3位、本物を追求する気鋭の弦楽四重奏団

本シリーズの2019年度のトップバッターは、桐朋学園の学生により2006年に結成したウェールズ弦楽四重奏団。2008年ミュンヘンARD国際音楽コンクールにて第3位、日本人の団体として東京クワルテット以来38年ぶりの入賞を果たしました。2010年よりスイス・バーゼルに拠点を移し、ハーゲン弦楽四重奏団のライナー・シュミット氏のもとで研鑽を積みながら、ヨーロッパで活動の場を広げてきました。2013年より再び拠点を日本に移し、以来、日本有数の演奏会場に招聘され公演を重ねてきました。その演奏は折り紙つき。

今回はウィーンに所縁のある作曲家で構成され、1日を通して聴くと、弦楽四重奏曲の様々な表情が見て取れるという巧なプログラム。中でもウェーベルンは、彼らがとても気に入っているレパートリーの一つで、鮮烈な印象を残す一曲となるでしょう。ぜひ、ご注目ください。

**公演名：みなとみらいクラシック・マチネ ～名手と楽しむヨコハマの午後～ ウェールズ弦楽四重奏団**

**日時：2019年6月11日(火) 第1部 12:10 (11:30開場) 第2部 14:30 (13:50開場)**

**会場：横浜みなとみらいホール 小ホール**

**出演：ウェールズ弦楽四重奏団**

崎谷直人(ヴァイオリン)、三原久遠(ヴァイオリン)、横溝耕一(ヴィオラ)、富岡廉太郎(チェロ)

**曲目：[第1部] ハイドン：弦楽四重奏曲 第41番 ト長調 Op.33-5 Hob.Ⅲ:41**

モーツァルト：弦楽四重奏曲 第15番 二短調 K.421

**[第2部] ウェーベルン：弦楽四重奏のための6つのバガテル Op.9**

ブラームス：弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 Op.51-2

**料金：全席指定 1日券 2,700円 第1部/第2部 1,500円 ※3月17日(日)よりチケット発売開始**

**主催：横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)**

**問合せ：横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000**

◇ご取材・ご掲載・ご来場いただける場合には、下記へご連絡をお願いいたします。

このプレスリリースに関するお問合せ：横浜みなとみらいホール Tel: 045-682-2020 / Fax: 045-682-2023  
総支配人補佐：小椋錬太郎 広報担当：鈴木慶子 事業担当：白川美帆